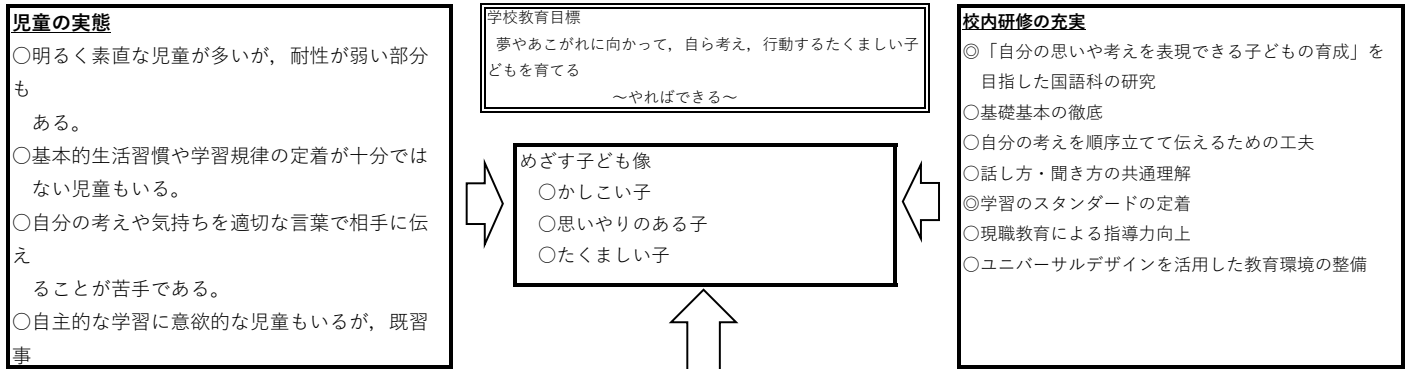


令和4年度 長崎市立伊良林小学校 学力向上全体計画



家庭

- 基本的生活習慣の定着 (早寝・早起き・朝ごはん)
- 道徳観の育成(してはいけないこと・しなければならないこと)の躰)
- 家庭学習の見守り
- メディア使用のルール作り

【本校における確かな学力】

- 自ら学び自ら考える力
- 論理的にものを考える力
- 表現する力・聞く力・伝え合う力

地域

- 地域行事等を通しての社会性の育成 (あいさつ・礼儀等)
- 学校教育への協力
- 情報の提供
- 学校行事への参加

基礎基本の徹底

- ◎学習規律の確立
- ◎家庭学習のてびき作成
- ◎家庭学習強調週間と家庭学習カードの活用
- ◎学習内容の定着に向けた反復練習
- スキルタイムの活用
- 読書の充実
- ひらがな・漢字検定
- クロームブックの活用
- 学力調査の考察

(今年度 数値目標)
保護者への学校評価の「家庭学習の習慣が身に付いている」項目の達成率90%。

(令和3年度実績)
学年毎に「家庭学習のてびき」を作成しているが、学校評価では「家庭学習の習慣が身に付いている」項目の達成率は89%とやや低い。

思考力・表現力の育成

- ◎対話活動の充実
- ◎考えや思いを表現する場の確保
- ◎「読むこと」と「書くこと」を関連させた指導
- 国語科の基礎・基本(話す・聞く、書く力等)の定着
- 算数用語を適切に使った説明の仕方など話形の指導

(今年度 数値目標)
教職員への学校評価の「研修が充実し、教職員の質が向上している」項目の達成率98%。

(令和3年度実績)
校内研修において、「自分の思いや考えを表現できる子どもの育成」を主題に研究を進めた。学校評価での研修に関する項目の達成率は95%。

学習意欲の向上

- ◎三人発表で授業開始
- ◎学習のゴールの共有
- ◎わかる、できる喜びを味わわせる授業
- めあてづくりの充実
- 問題解決型の授業
- 対話活動を重視した授業内容
- 少人数指導の積極的活用

(今年度 数値目標)
児童への学校評価の「わかりやすい授業を行っている」項目の達成率95%。

(令和3年度実績)
学校評価での達成率は、児童が92%、保護者が84%であった。

指導力向上

- ◎校内研修を通して日々研鑽
- 校外研修への積極的参加
- ◎一人一研究授業の実施
- 本校職員による伝達講習
- 現職教育の充実
- ◎GIGAスクールの推進
- ICT機器の活用
- ◎学力調査結果の分析と対応の検討

(今年度 数値目標)
学力調査における市内ランクのBランク以上を目指す。

(令和3年度実績)
昨年度3年国B,算C
昨年度4年国C,算B
昨年度5年国B,算C
昨年度6年国B,算C

校内指導体制

- TT・少人数指導の工夫
- ◎特別支援教育の充実
- 学生ボランティアの活用
- 国際理解教育の推進
- ◎低位にある児童への指導・児童理解校内委員会で検討・校内支援計画に基づく支援体制・通級指導教室の活用・関係機関との連携

(今年度 数値目標)
伊良林ユニバーサルデザイン項目達成率100%。

(令和3年度実績)
各学級で「ユニバーサルデザインの環境チェックリストを活用し、環境整備を行うことができた」達成率は100%である。

課題改善に向けた具体的な取組		
	具体的な内容(主に国語・算数について)	
1年	国語	音読・漢字練習・漢字の言葉集めに継続的に取り組ませる。また順序を正しく書いたり、助詞を正しく使ったりすることに慣れるために、定期的な日記帳に取組み作文指導を行う。
	算数	計算テストを継続的に、タイムの短縮を目指しながら計算力の向上を図る。また、自分の考えを話したり書いたりする活動を意図的に取り入れる。
2年	国語	音読と漢字練習を毎日、日記を週末の宿題とし、取り組ませる。また、順序を表す言葉を用いながら、主語・述語の整った文を書く活動に力を入れる。
	算数	繰り上がり繰り下がりのある計算問題に繰り返し取り組ませ、計算力の向上を図る。また題意に沿って図をかいたり、図から問題文を作ったりして、思考・表現力の向上に努める。
3年	国語	主語・述語や修飾語を意識して文章を書けるように、学習過程に書く活動を有効的に取り入れる。
	算数	スキルタイムや家庭学習を中心に、文章問題に取り組む。題意を正確につかむために、問題に線を引いたり、図に表したりして、思考・表現力の向上に努める。
4年	国語	文章を読む際に、主語・述語の関係を意識しながら読ませることに力を入れる。自分の考えを指定された条件で文章に表現する活動を積極的に取り入れる。
	算数	数量関係を数直線に表す活動を積極的に取り入れる。自分の考えを相手に説明したり、友達考えを自分の考えと比べながら聞いたりする活動を通して、思考力や判断力の育成を目指す。
5年	国語	主語・述語の関係についておさえる場面を設けたり、文字数制限などの条件を決めて、感想や要旨を書いたりする活動を積極的に取り入れる。
	算数	基礎的な計算問題に繰り返し取り組ませる。また、数量関係を捉えるために、数直線や図に表す活動を積極的に取り入れたり、記述式の問題に取り組ませたりする。
6年	国語	目的や意図に応じて、根拠を明確にしながら自分の考えを書き表せる。また、その考えを友達と交流し、学びを深める機会を設ける。
	算数	割合を活用する学習単元で、割合のポイントを想起させ、定着を図る。また、スキルタイムを使って、割合を求める問題に取り組ませる。